

総合事業経営による農業と地域への貢献宣言

J Aめぐみのは、これまでも、これからも
総合事業経営により農業と地域へ貢献します。

協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組めます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

J Aは、本来、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談や生活相談事業を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の振興や地域づくりを応援していただける方は、農業の応援団として准組合員加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、MAP（担い手専任担当者）・営農アドバイザー（営農指導担当者）の配置や営農施設への投資が可能です。

主な取り組みは次のとおりです。

農業への貢献では、①MAP・営農アドバイザーを34名配置し、②カントリーエレベーター・ライスセンター・選果場・農機センター等の営農施設を42施設運営し、③新規就農支援では就農塾やトマトの学校の開設、実証圃場やあすなる塾での本格的農業研修を展開しています。

地域への貢献では、①管内5市8町村と災害時における相互応援に関する協定や管内4警察署と地域の安全安心活動に関する協定等を締結し、②民間企業との地域創生の深化に向けた農業振興に関する連携協定や管内大学との包括的連携に関する協定の締結、③夏休み親子農業体験をはじめとする小学生の稲作・野菜等の収穫体験や女性部と連携した食農教育活動の展開、④各種スポーツイベントへの支援等、地域活性化の取り組みに対して助成をしています。

J Aめぐみのは、これまでも、これからも、農業者（正組合員）と農業の応援団（准組合員）とともに、総合事業経営により農業と地域へ貢献することを、ここに宣言します。

令和元年6月21日

第16回めぐみの農業協同組合 総代会